2021/12期第2四半期
決算説明資料

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION



2021年9月9日（木）

日本コンセプト株式会社

東証1部
9386

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ 2021/12期第2四半期決算の概要

Ⅱ 事業環境と今後の見通し

Ⅲ APPENDIX

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

2021/12期第2四半期決算の概要

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2021/12期第2四半期決算ハイライト

■新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な事業環境は依然として継続しているものの、輸出の伸びを着実に捉える一方、新規取引の獲得等もあり、取扱本数は大幅に増加

1 2021/12期第2四半期累計期間は、
前年同期比で売上高24.5%増収、営業利益65.0%増益
第2四半期累計期間において過去最高売上および最高益を更新

2 純資産は着実に増加
有利子負債は一時的に増加するも、負債比率は50%台をキープ

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2021/12期第2四半期決算実績

（百万円）	2020/12期			2021/12期 2Q累計	差異	
	上期	下期	通期	上期	前年同期比	
売上高	6,069	6,208	12,277	**7,554**	+1,484	+24.5%
売上総利益	1,428	1,478	2,906	**1,914**	+486	+34.0%
営業利益	711	785	1,496	**1,173**	+462	+65.0%
経常利益	718	731	1,450	**1,121**	+402	+56.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	512	516	1,029	**796**	+283	+55.3%
売上総利益率	23.5%	23.8%	23.7%	**25.4%**	+1.8ppt	–
営業利益率	11.7%	12.7%	12.2%	**15.5%**	+3.8ppt	–
経常利益率	11.8%	11.8%	11.8%	**14.8%**	+3.0ppt	–
保有基数（期末）	8,163基	–	8,482基	**9,451基**	+1,288基	+15.8%
稼働率（期中平均）	71.0%	–	71.1%	**76.2%**	+5.1ppt	–
為替（対US＄）	108.2円	–	107.4円	**107.8円**	0.4円高	0.4%高

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因

- 海外の景気回復に伴う輸出量増加等により輸送取扱本数が大幅に増加したことから、売上総利益は大きく伸長
- 上昇の続く海上運賃に対する価格見直しや加温・保管等の低コストの業務取扱が増えたことで粗利率が上昇したことも増益に寄与

営業利益

7.11億円 (2020/12期2Q累計) ▶ **11.73**億円 (2021/12期2Q累計)

+4.62億円

① 売上総利益の増加：+4.86億円
- a. 増減収効果：+3.49億円
- b. 粗利率上昇：+1.37億円

✓ 輸送取扱本数が大幅に増加

② 販管費増：▲0.24億円

✓ 海上運賃上昇に対する価格見直しを推進
✓ 加温や保管等の低コストの業務が増加

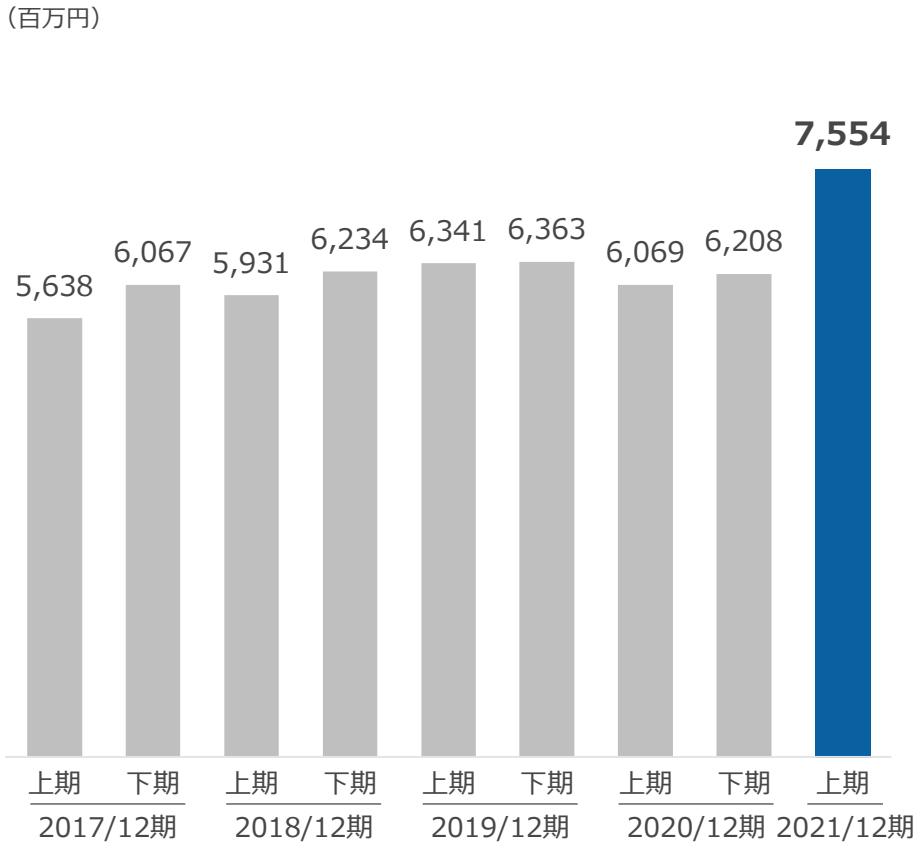
環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

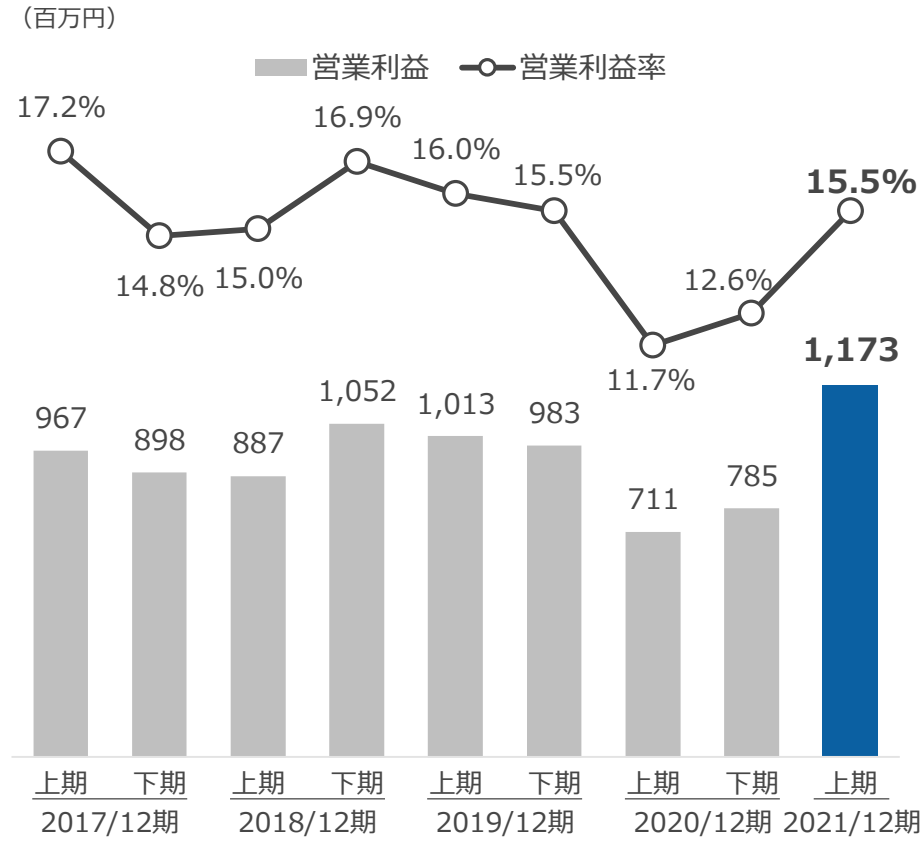
業績の推移

- 取扱本数の大幅な増加により売上高は75億54百万円となり、第2四半期累計期間において過去最高売上を更新
- 海上運賃の上昇や減価償却費の増加により営業利益率は15.5%に留まるも、営業利益は11億73百万円となり、こちらも第2四半期累計期間において過去最高益を更新

売上高の推移



営業利益及び営業利益率の推移

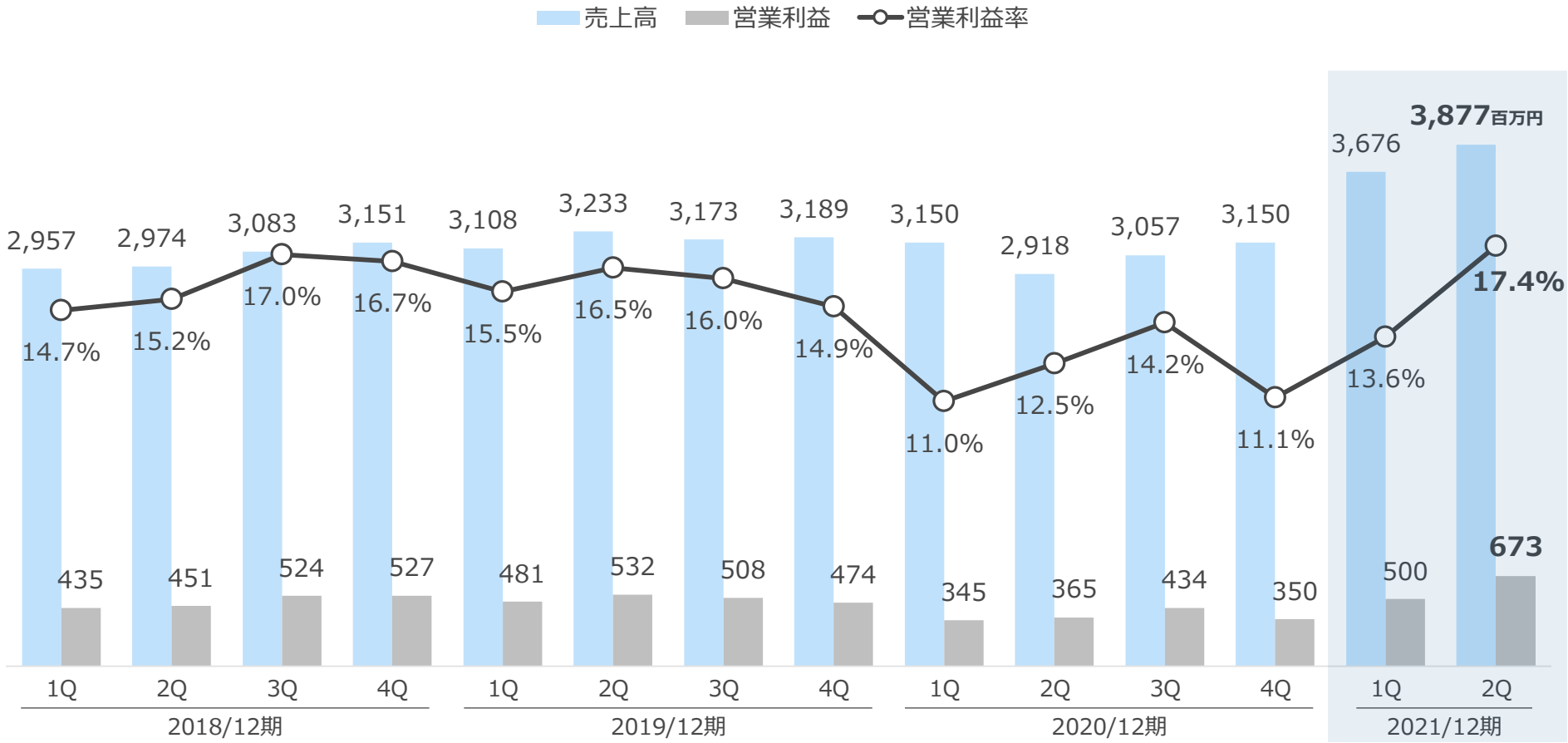


環境、つなぐ未来。

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

四半期決算業績の推移

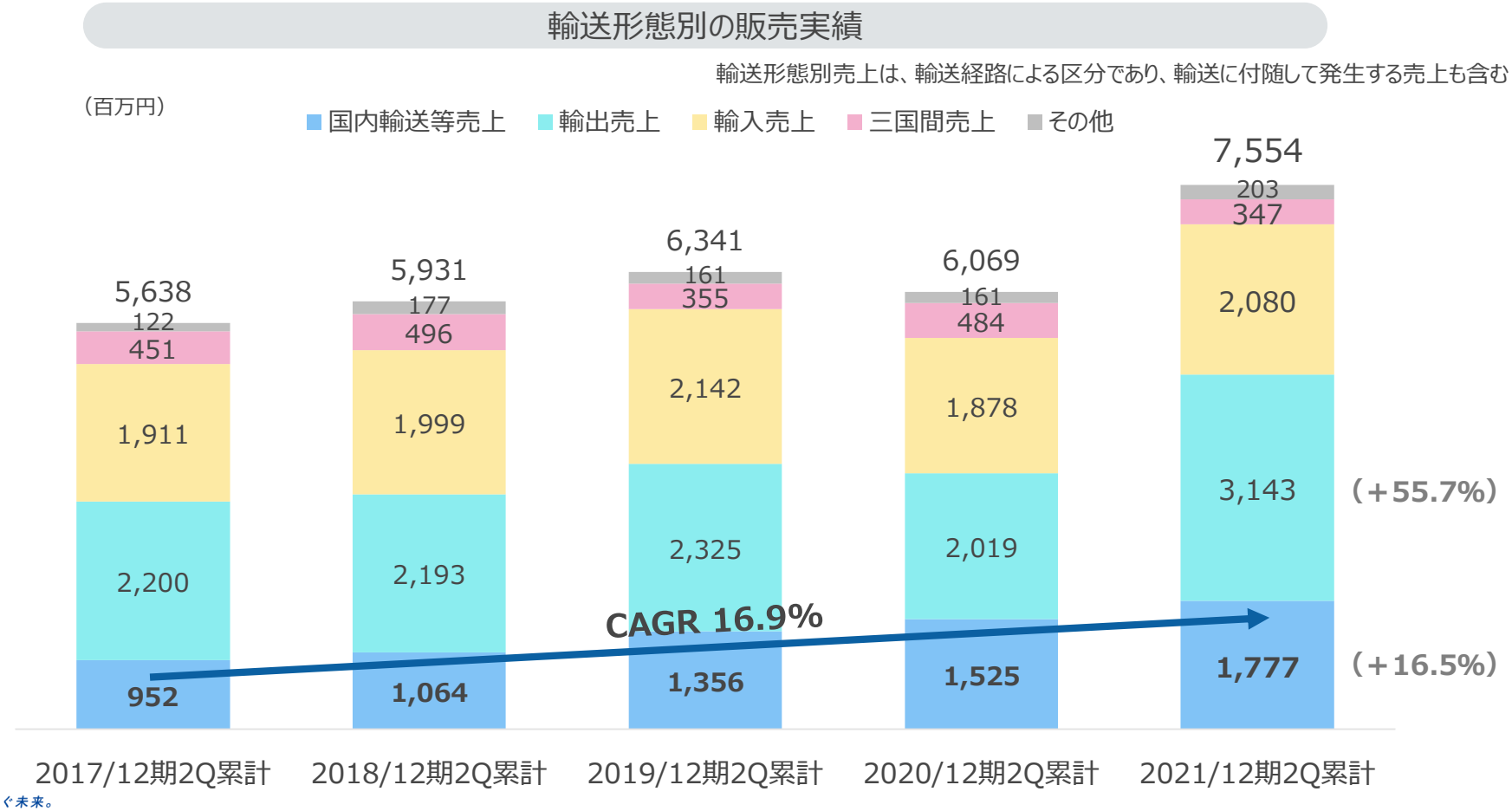
- 取扱本数が大幅に増加し、売上高と営業利益で四半期過去最高を更新
- 海上運賃の上昇に伴う価格見直しの推進等により、営業利益率は上昇



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

輸送形態別の販売実績

- 当社の強みである国内支店網を活かした保管や加温業務が大幅に増加し、国内輸送等売上高は前年同期比+16.5%と2桁成長を維持
- コロナ禍においても輸出取引獲得に向けた営業活動を全社一丸となって推進したうえ、新規取引の受注も増加。輸出売上は前年同期比+55.7%と大幅に伸長

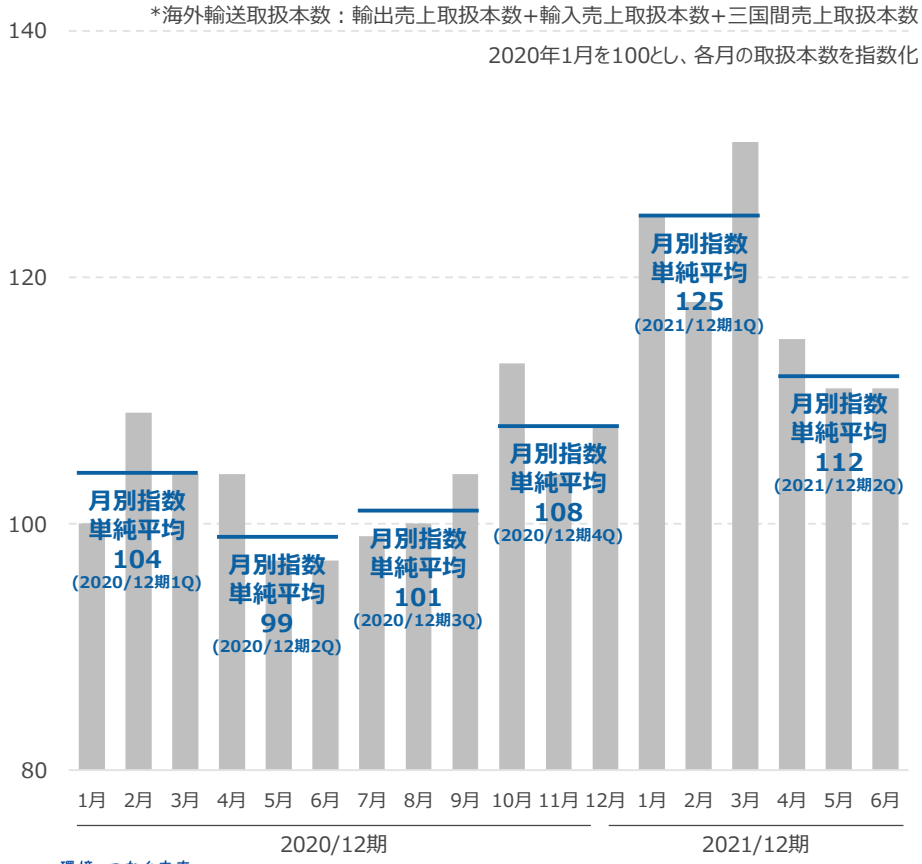


© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

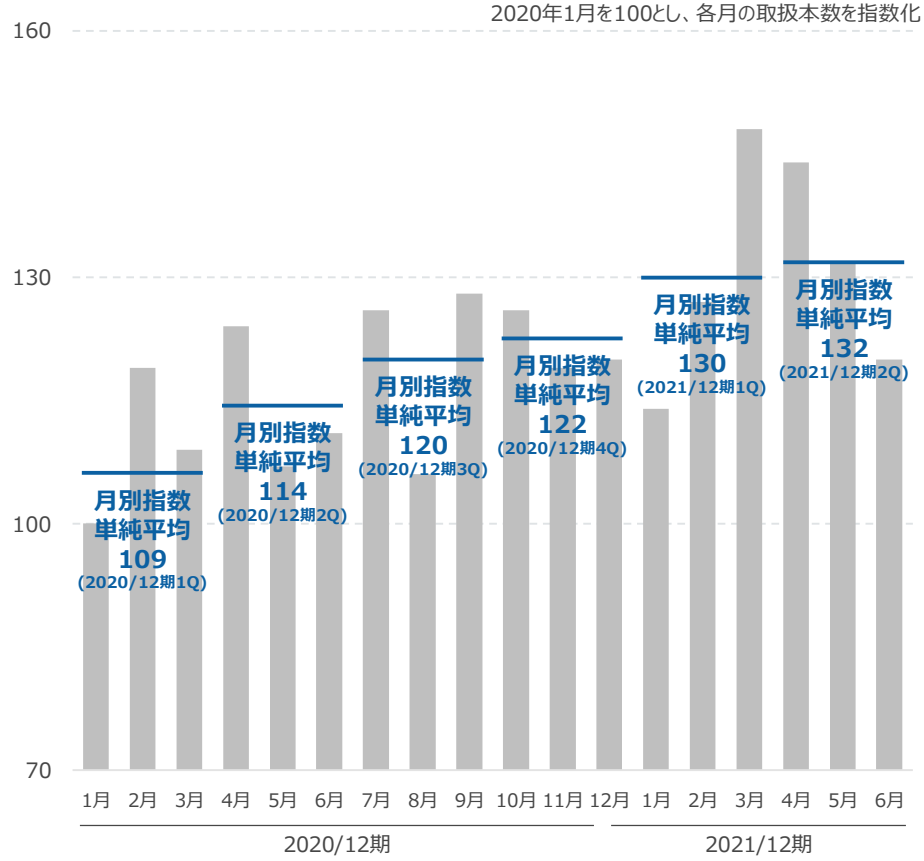
取扱本数の月別推移

- 海外輸送取扱本数は、海外の景気回復に伴う輸出量増加等により、第2四半期累計期間において過去最高を記録
- 国内輸送取扱本数も、旺盛な需要により堅調に推移

*海外輸送取扱本数の推移



国内輸送取扱本数の推移



環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

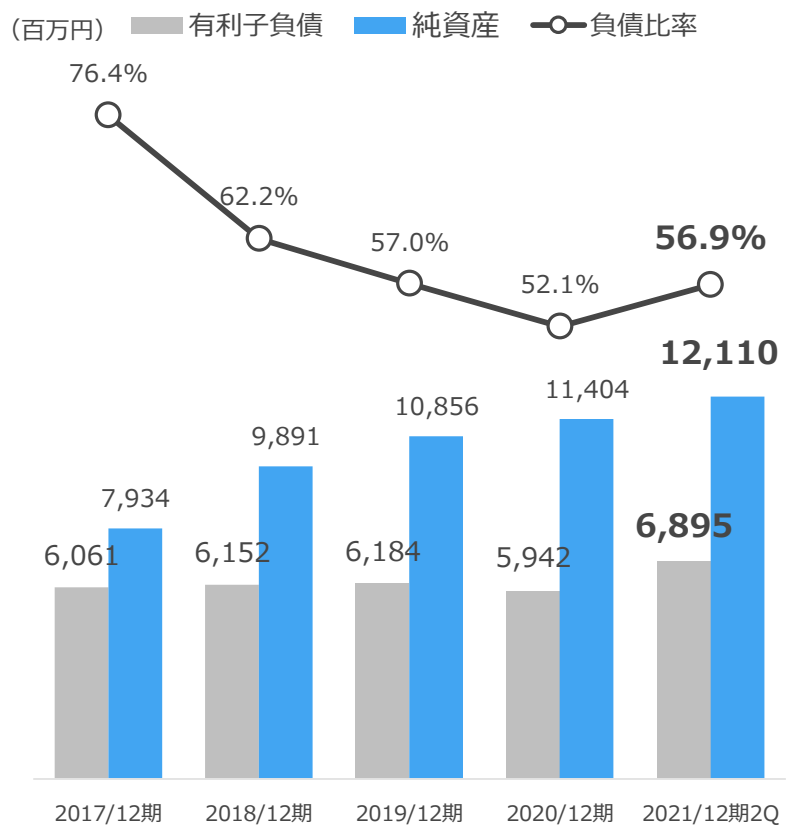
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

バランスシートの状況

■ 純資産は着実に増加。有利子負債は一時的に増加するも、負債比率は50%台をキープ

(百万円)	2020/12期	2021/12期 2Q	12月末比	
			増減額	増減率
流動資産	6,808	**8,339**	+1,530	+22.5%
現預金	4,835	**6,038**	+1,202	+24.9%
固定資産	12,200	**12,765**	+564	+4.6%
タンクコンテナ	7,360	**7,958**	+597	+8.1%
総資産	19,008	**21,104**	+2,095	+11.0%
負債	7,603	**8,994**	+1,390	+18.3%
有利子負債	5,942	**6,895**	+953	+16.0%
純資産	11,404	**12,110**	+705	+6.2%
負債純資産合計	19,008	**21,104**	+2,095	+11.0%

＊有利子負債依存度等の推移



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

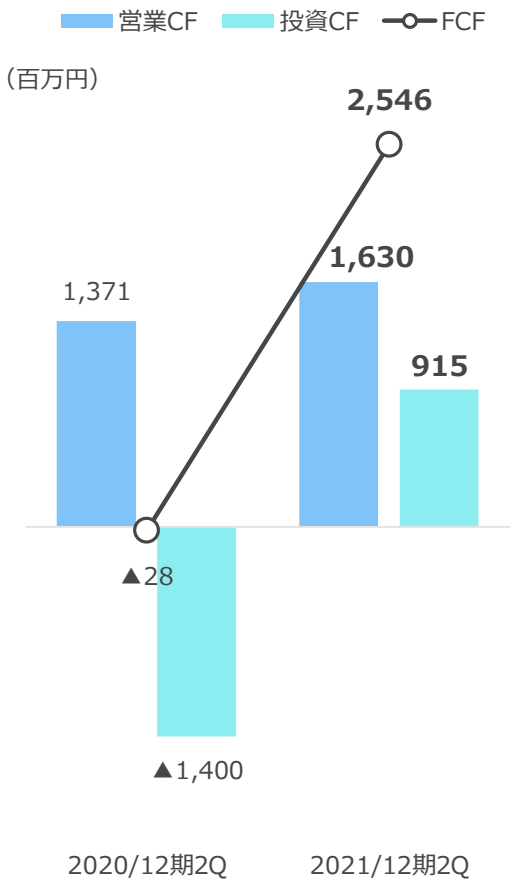
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

キャッシュフローの状況

■ 営業CFの増加及び、定期預金の払戻し等による投資CFの増加により、FCFは増加

(百万円)	2020/12期 2Q累計	**2021/12期 2Q累計**	前年同期比	
			増減額	増減率
営業CF	1,371	**1,630**	+258	+18.9%
税金等調整前当期純利益	717	**1,121**	+404	+56.3%
減価償却費	605	**659**	+54	+9.0%
投資CF	▲1,400	**915**	+2,316	–
定期預金の純増減額	▲1,238	**1,001**	+2,239	–
有形固定資産取得	▲158	**▲76**	+82	–
FCF*	▲28	**2,546**	+2,575	–
財務CF	▲472	**▲402**	+70	–
有利子負債の返済等	▲265	**▲195**	+69	–
配当金支払額	▲207	**▲207**	±0	–
現金同等物の期末残高	3,610	**3,634**	+24	+0.7%

*FCF＝営業CF+投資CF



環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

事業環境と今後の見通し

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2021/12期 業績予想について

当第2四半期累計期間では、
海外の景気回復に伴う輸出量の大幅増加を背景に
海外・国内共に前期売上高を大きく上回った。

しかしながら新型コロナ収束には不確定要素があり、
未だ世界中で先行き不透明な事業環境が継続。

コロナ禍での輸送地域による売上変動や
海上運賃変動の影響を正確に見込むことは困難であり、

2021年12月期の業績予想策定には慎重にならざるを得ない。

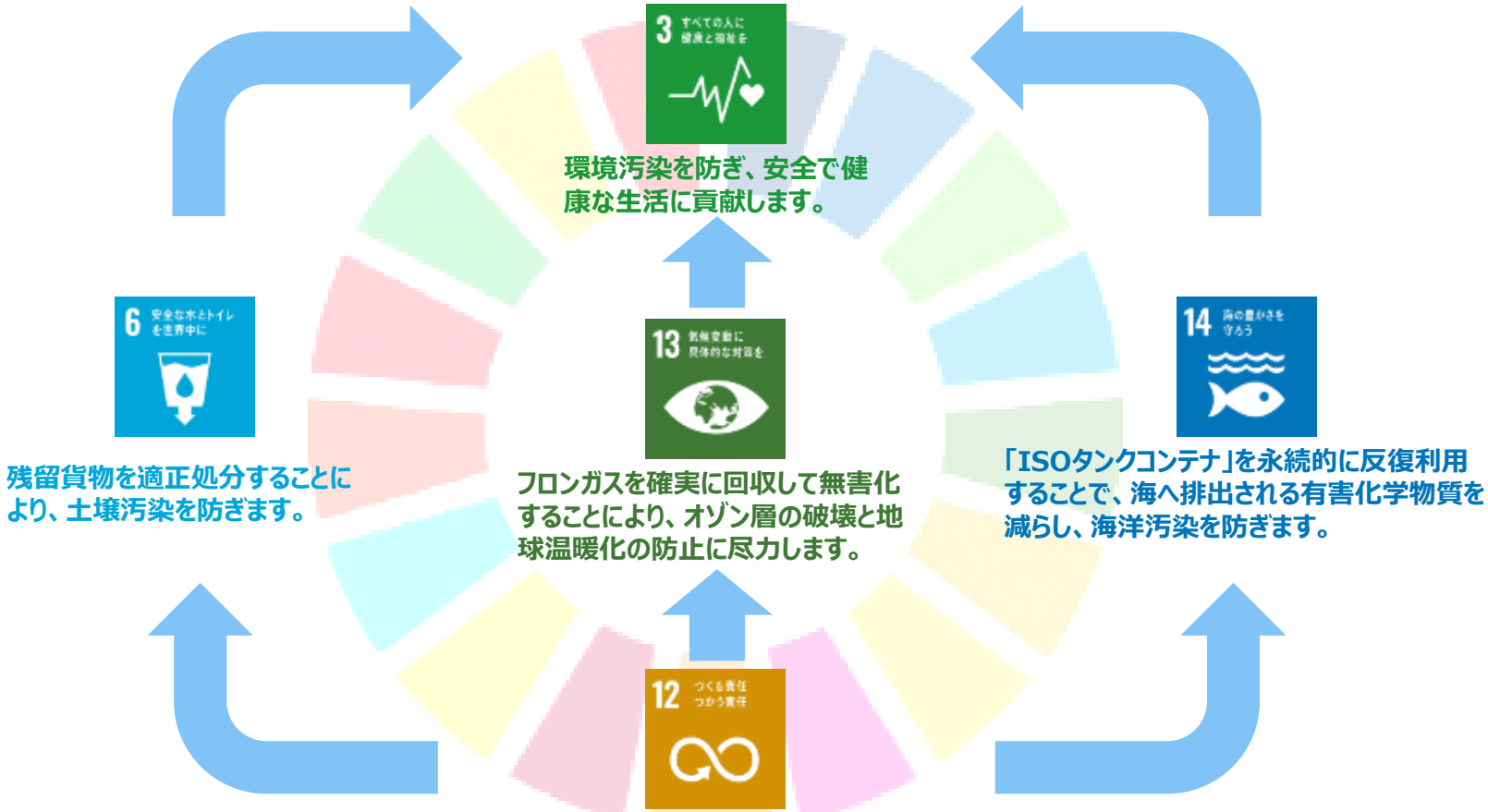
この状況が改善すれば直ちに業績予想算定が可能となる。

速やかに公表予定

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社ビジネスとSDG s

■ 当社は、地球環境への影響が少なく反復利用できる「ISOタンクコンテナ」を世界中に流通させることを目的に、1994年に創業。タンクコンテナは経済性が高く、地球の環境破壊を防ぎながら、人類が未来永劫にわたり活躍のできる社会維持に貢献



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナは長期に亘り反復利用が可能

- タンクコンテナは、*ISO規格に基づく高い強度と耐久性を備え、危険物を一般の貨物と同様に海陸一貫輸送が可能。地球温暖化抑制の観点から世界中に推進されているモーダルシフトにも適合
- タンクコンテナは長期に亘り反復利用が可能。包装材を一切使用しないため、輸送に伴う廃棄物は発生せず
- 貨物の残液や洗浄作業で発生する排水を、信頼性の高い自社の施設で厳格に処理

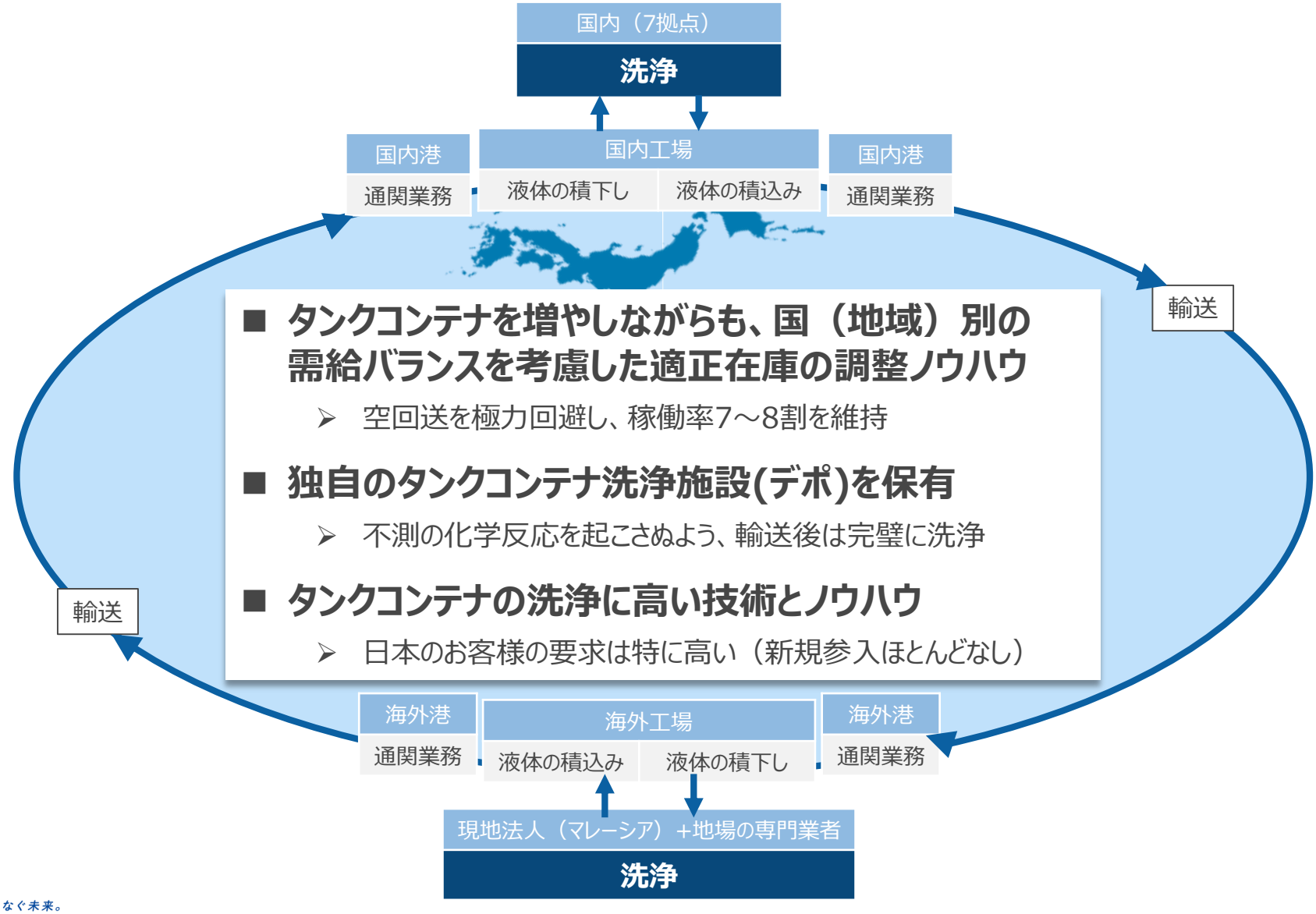
*ISO：International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナ（液体）のビジネスモデル

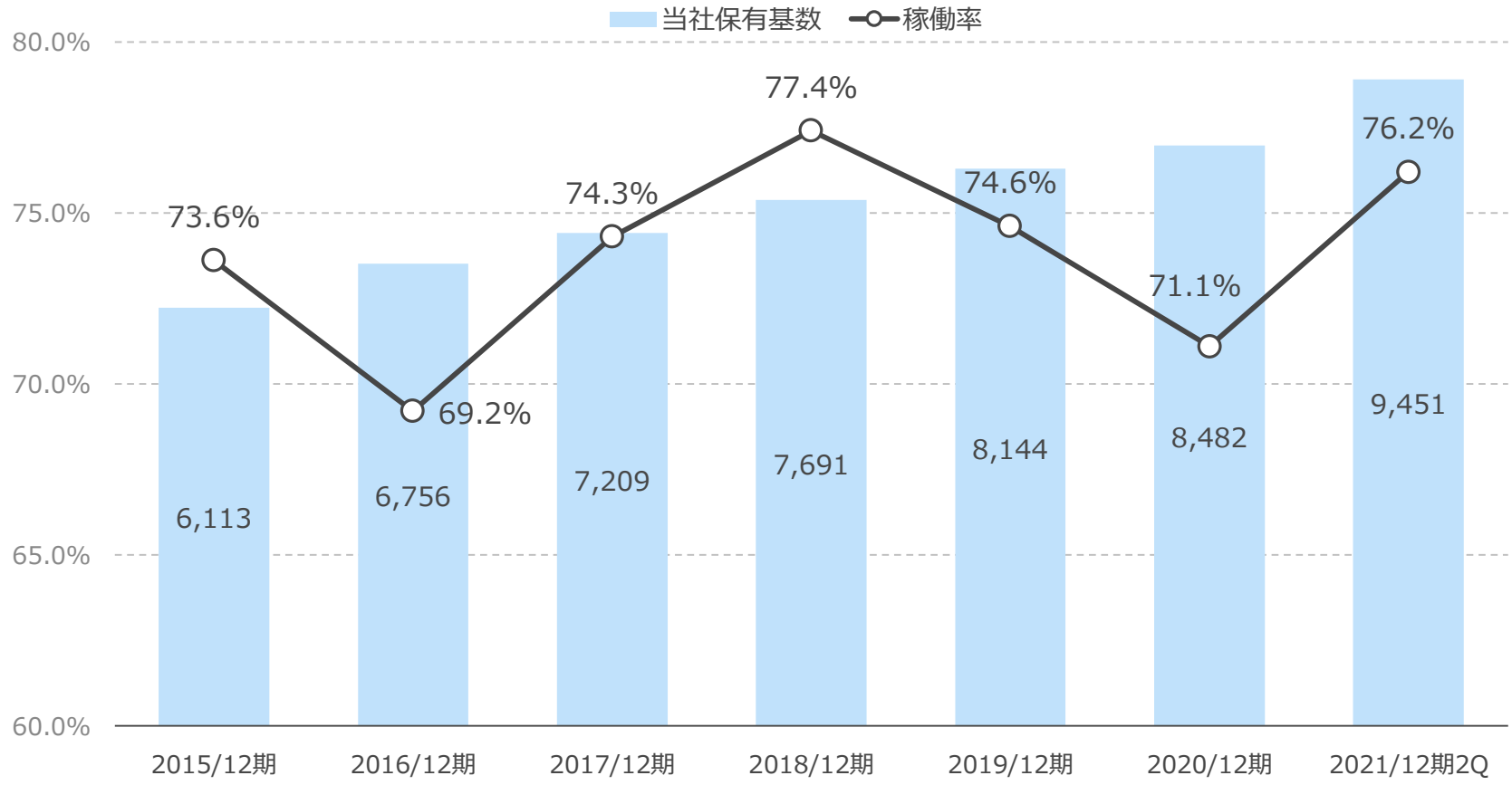


環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

ケミカル関連ビジネスの拡充

- 競争力強化に向けて保有基数の増強を図りつつ、70%台の稼働率を維持。旺盛な需要により、足元では76.2%まで上昇
- 効率的な輸送を展開しつつ、輸送量の増加を睨んで着実な積み増しを目指す



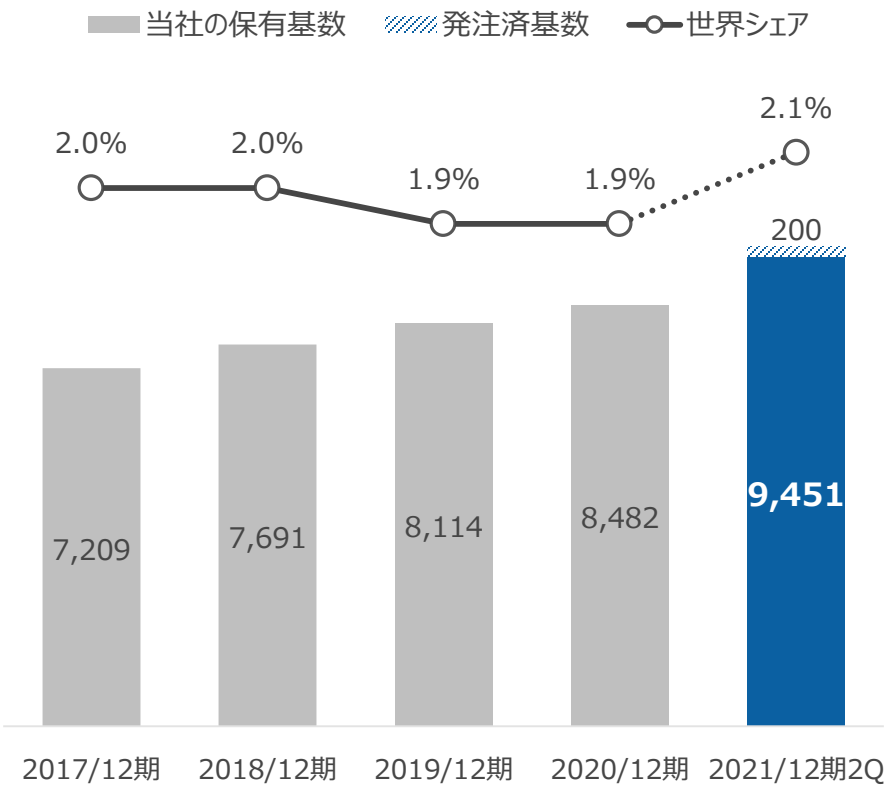
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

タンクコンテナ保有基数及び世界シェア推移

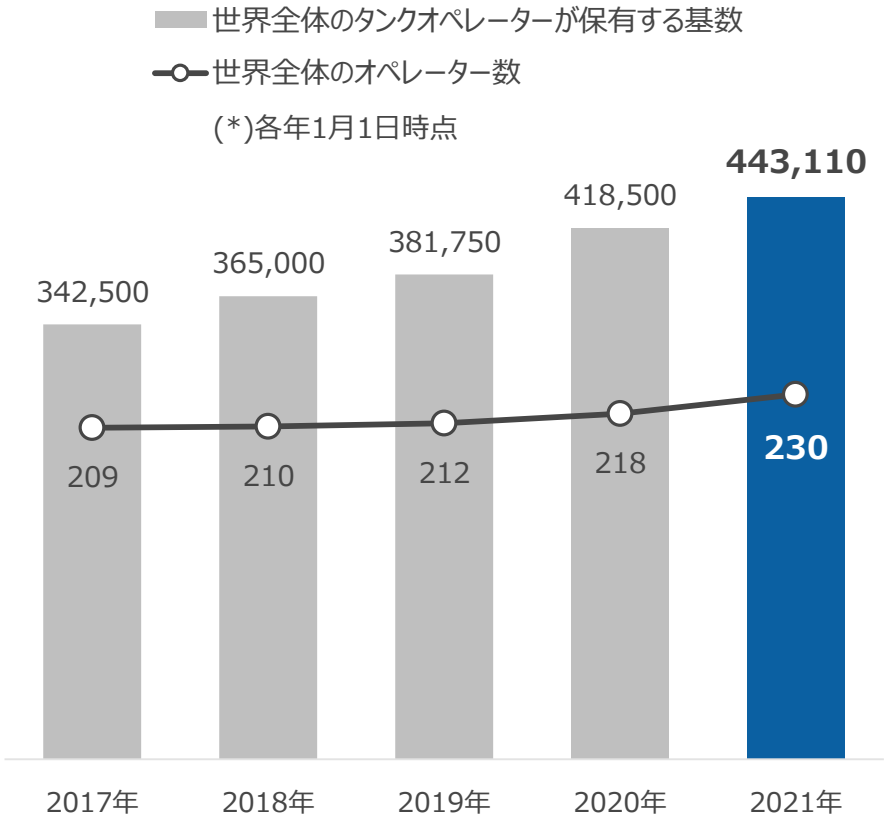
■ ここ5年間で世界全体で活躍するタンクコンテナ基数は29.4%増加。当社の保有基数は25.5%増加し、世界シェア*2.1%程度をキープ

*2021年1月1日時点の世界全体のタンクコンテナ基数を基に算出

当社のタンクコンテナ保有基数及び世界シェアの推移



世界全体のタンクコンテナ基数等



(出所)ITCO 2021 Global Tank Container Fleet Survey

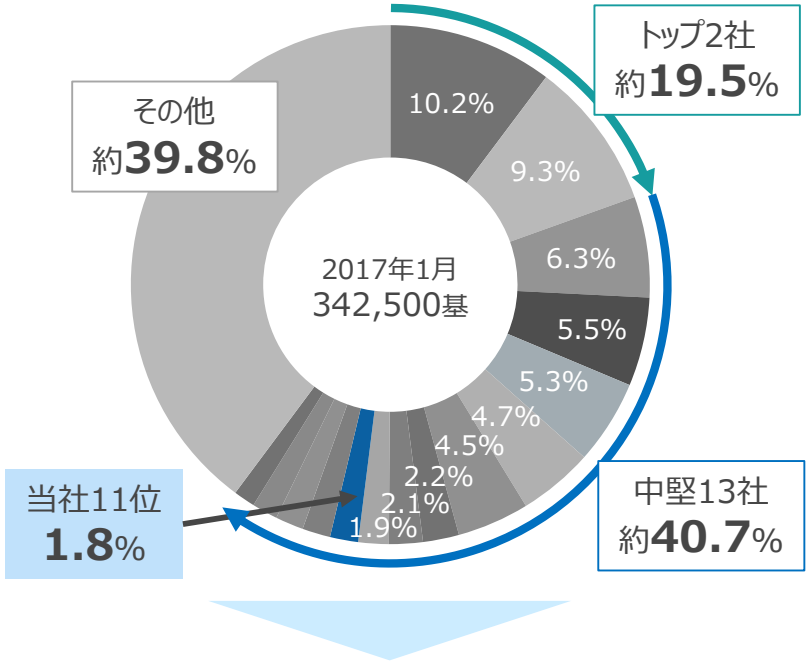
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

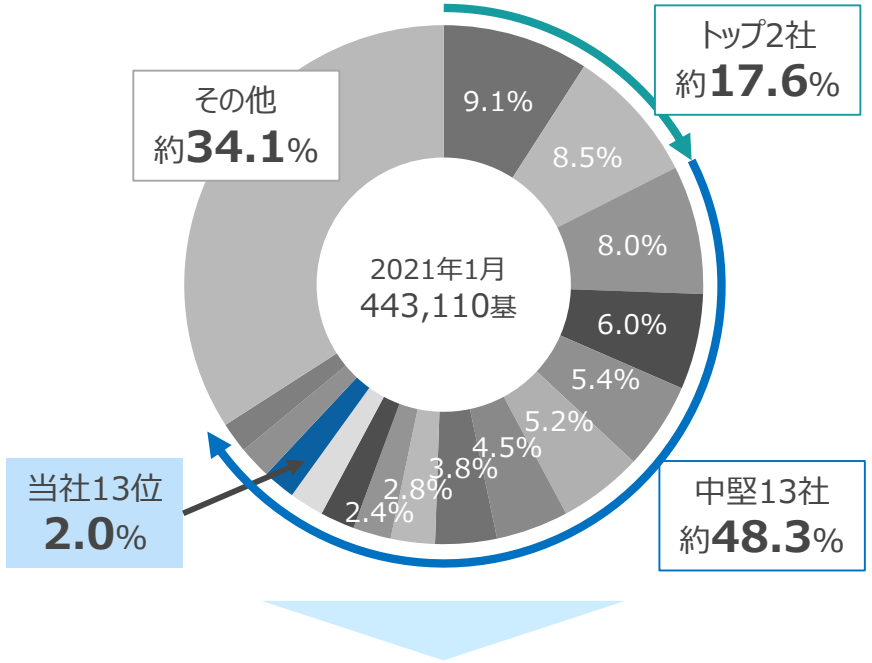
当社のポジション

- ここ5年でのトップ2社の保有シェアは低下する一方、当社を含めた中堅13社の保有シェアは上昇しており、シェア争いは一段と激化
- 当社は順位こそ下がったものの、世界シェア比率は上昇。今後も顧客ニーズを睨んでタンクコンテナの発注を調整

世界のタンクコンテナ保有シェア（2017年1月）



世界のタンクコンテナ保有シェア（2021年1月）



2017年には中堅オペレーター13社で約40.7%を占めていたが、ここ5年で約48.3%の占有率へと推移
世界のタンクコンテナ保有シェアは上位企業によって、より寡占状態に

(出所)ITCO 2021 Global Tank Container Fleet Survey

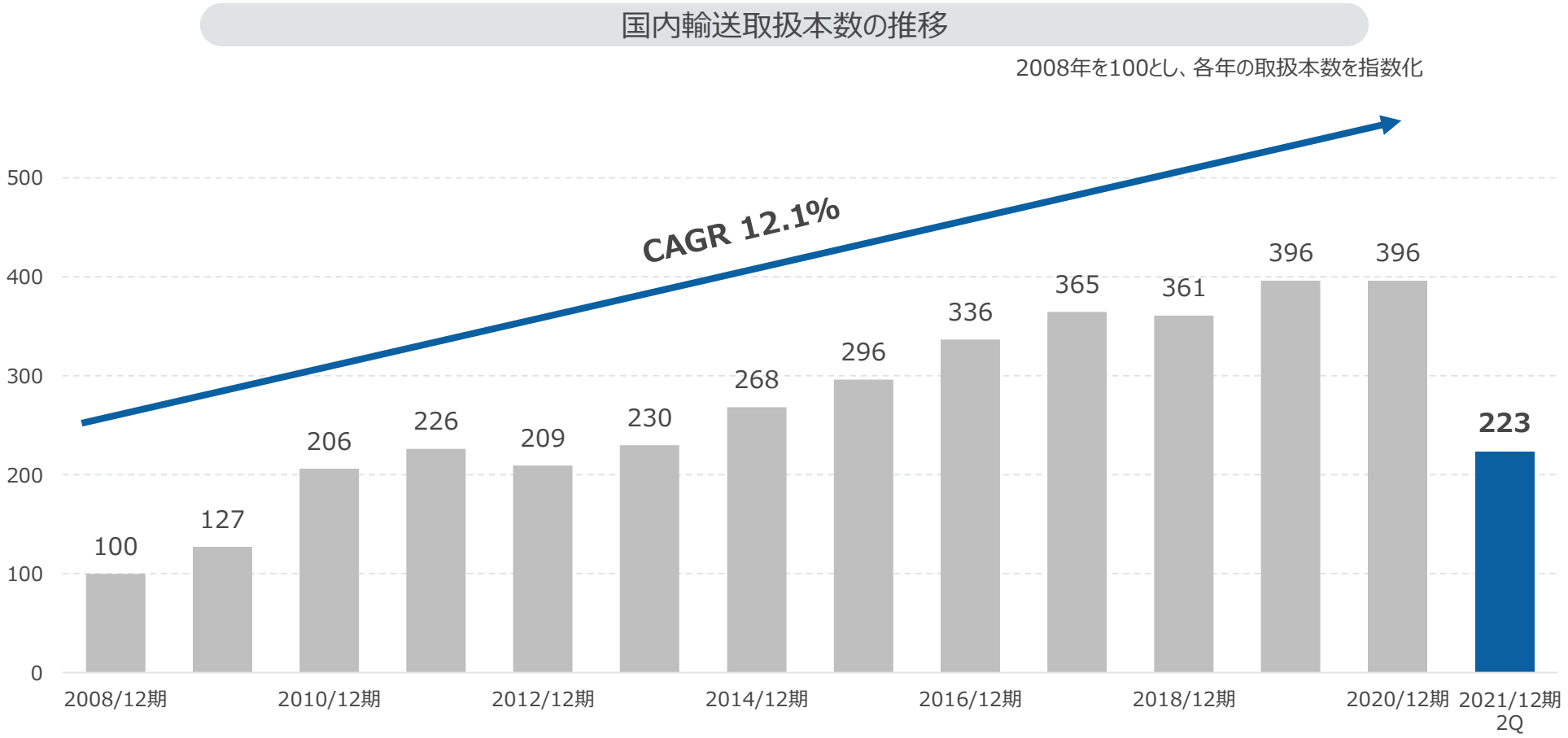
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

国内輸送取扱本数の推移

■ 高い洗浄技術とノウハウにより、*コンタミネーション発生ゼロ。独自の洗浄施設において徹底した洗浄とメンテナンスを実施。国内顧客の厳しい要求を満たす高い技術力により、国内輸送取扱本数は着実に増加。2021/12期2Qは前期を上回るペースで推移

*コンタミネーション：異物混入（主に前荷の混入）



環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

ガスタンクコンテナ（フロンガス）の一貫処理

■ ガスタンクコンテナのワールドワイドロジスティクスを含め、保管・回収・再生・無害化(分解)・検査に至るまでの一貫処理を日本で初めて可能とし、トータルソリューションサービスを提供



ワールド・ワイド
ソリューション

タンクコンテナに充填された貨物を、トラック・鉄道・船舶等により納品



レンタル

当社でしっかりメンテナンスした高品質なタンクコンテナを短期間でもレンタル



法定検査

タンクコンテナは危険品も輸送することから、国連の定めるIMDGコードに従った厳しい検査を2.5年毎に実施



保管

危険品を含めた液化ガスを、お客様の納期調整などのニースにお応えし、当社で確実に保管



フロンガス回収

「フロンガス回収法」により大気への放出が禁止されており、都道府県知事の登録を受けた事業者による回収が義務付けられている



フロンガス再生

回収したフロンガスから不純物を取り除いて再利用。「フロン回収破壊法」で所管大臣の許可を得た事業者による再生が義務付けられている



フロンガス無害化

再利用する場合を除き、回収したフロンガスは所管大臣の許可を受けた事業者による無害化が「フロン回収破壊法」で義務付けられている



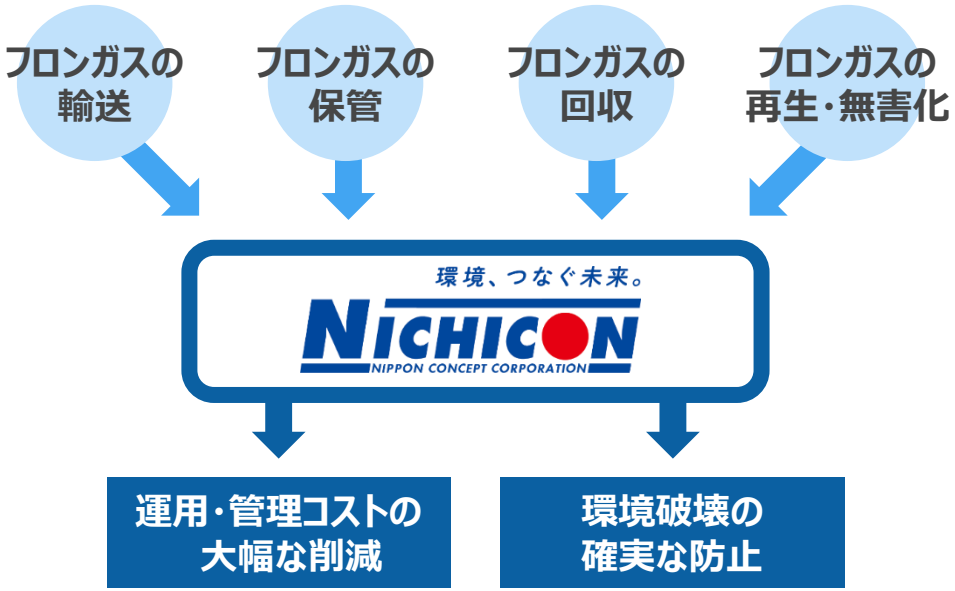
環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

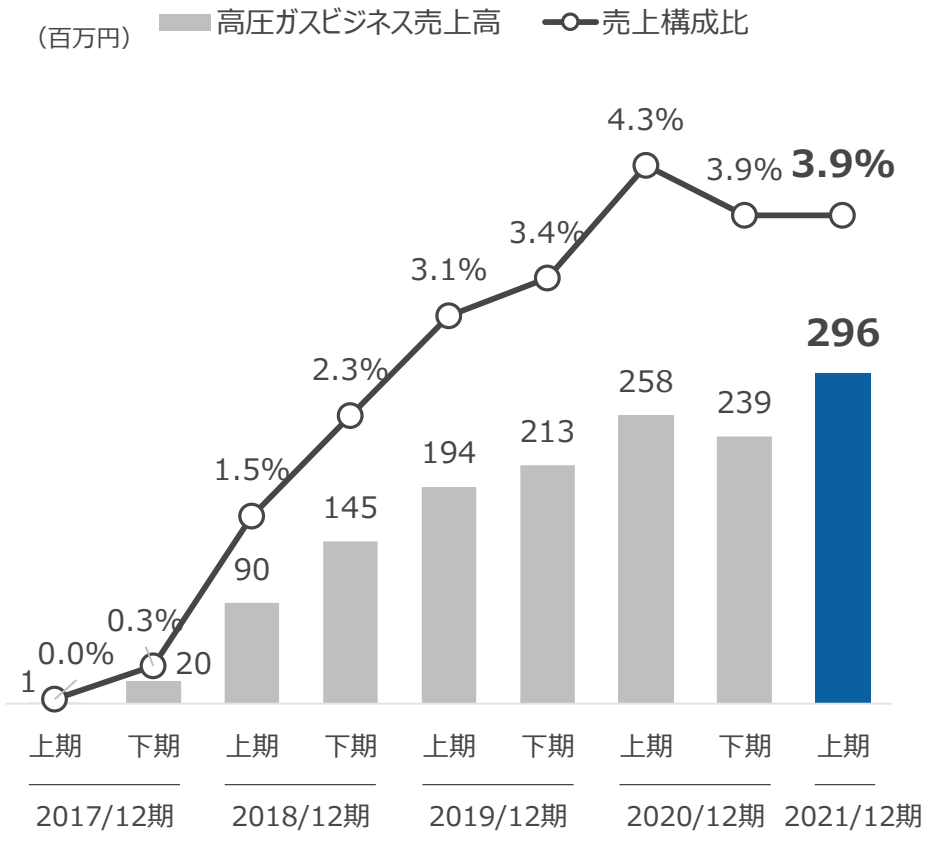
高圧ガスビジネスの状況

- 第二のコアビジネスとして、ガスタンクコンテナを用いたトータルソリューションを提供
- 高圧ガスビジネス売上高は堅調に増加し、売上高全体に占める割合も4%程度をキープ

ガスタンクコンテナ事業の概要



ガスタンクコンテナ事業　売上実績



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

液化炭酸ガスの取扱い開始

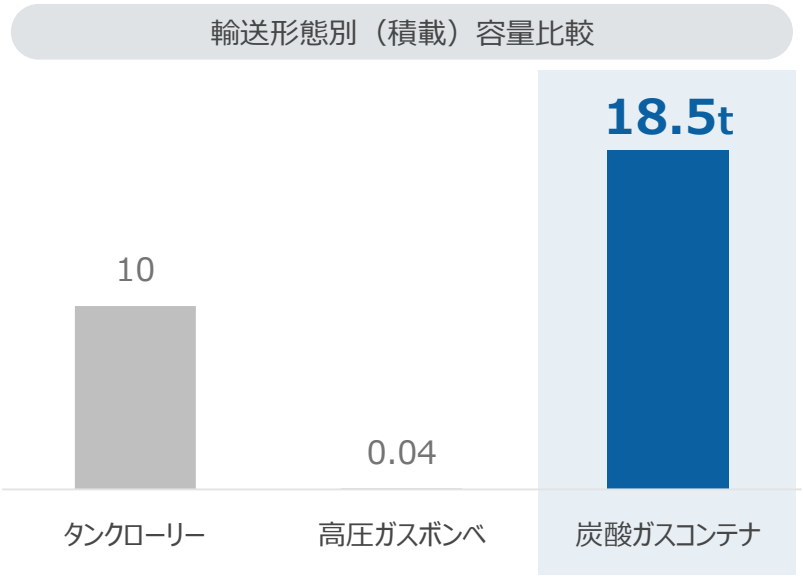
- ガスタンクコンテナに当社独自の技術による改良を行うことにより、2021年8月から液化炭酸ガス向けサービス*の提供が可能に　*高圧ガス保安法第44条第1項に基づく検査に合格
- 従来のタンクローリーや小型の高圧ガスボンベによる輸送と比べて大量輸送ができるだけでなく、輸送する際の化石燃料の消費も削減され、地球環境保全にも配慮

食品、工業、医療用など
身近な生活用途としての需要が多い産業ガス



＜炭酸ガス＞
清涼飲料水／樽生ビールの炭酸ガス／キャンディ等のお菓子類／冷却用ドライアイス／エアゾール、消火剤の噴射剤／土壌、水道管等の凍結防止水／一酸化炭素、モルヒネ等中毒時における呼吸中枢の興奮性低下／X線コンピュータ断層撮影に必要な腸管の拡張 等に利用

従来の輸送形態に比べ
輸送効率が格段に向上



SDGsの目標達成に寄与する事業を行い、タンクコンテナを用いた
輸送品目の拡大等を通じて、地球温暖化や海洋汚染の防止に努める

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

㈱商船三井グループとの協業加速

- 当社、㈱商船三井、商船三井ロジスティクス㈱の3社共同で、
  当社の海外代理店業務を統括する合弁会社(MOLロジスティクス・タンクコンテナ㈱)を設立
- まず、タンクコンテナの貨物輸送に関する営業面・オペレーション面での協業を
  アジアを中心に展開し、㈱商船三井グループとのシナジーの極大化を図る

「液体貨物や各種ガスのDoor to Doorの国際複合一貫輸送サービス」のノウハウ・実績

グローバルなネットワーク力

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

×

MOL 商船三井
MOL MOL Logistics

業務提携エリアの拡大
タンクコンテナの貨物輸送に関する営業面・オペレーション面での協業加速

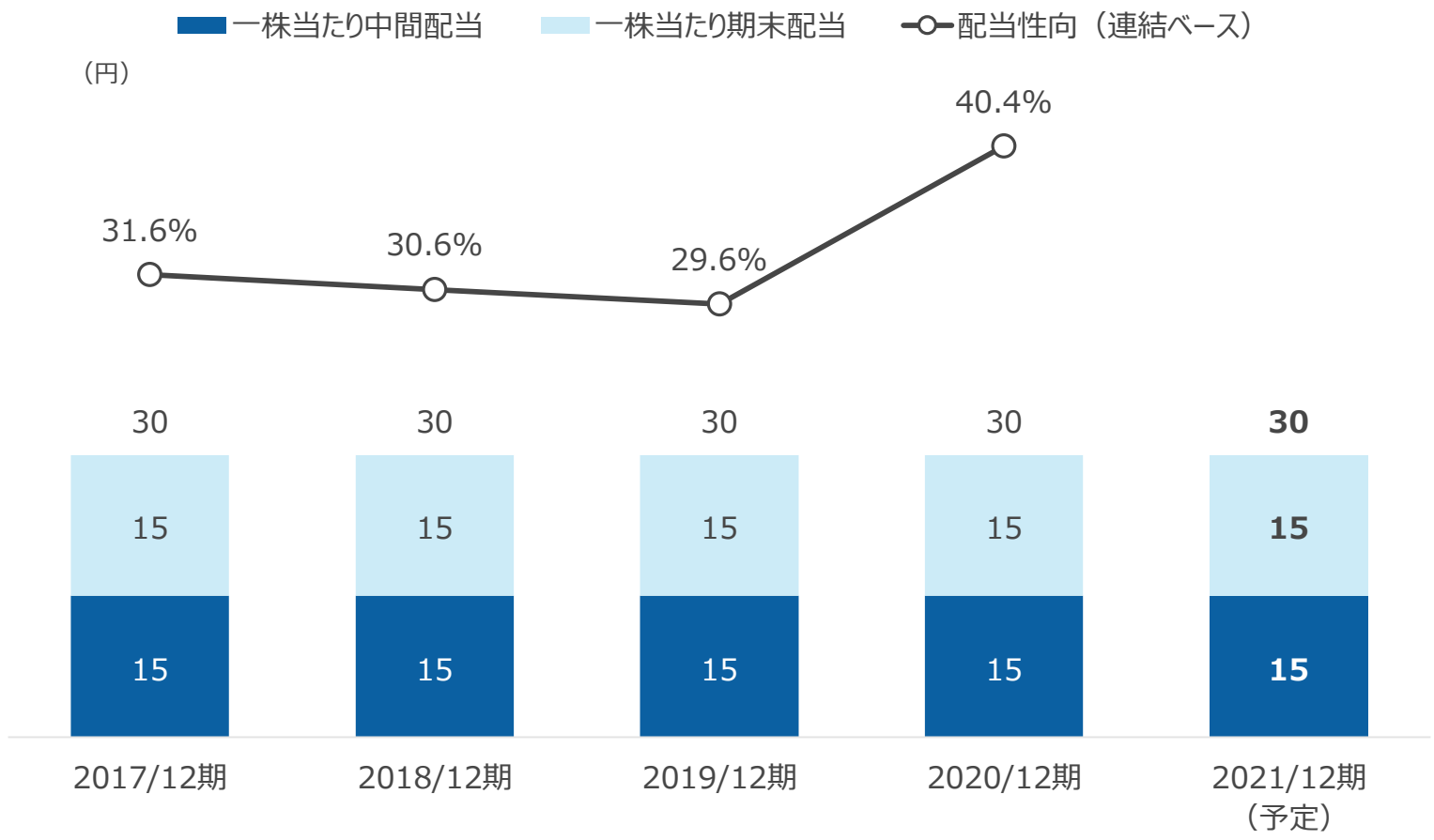
将来は、業務提携エリアをさらに広げ、
3社一体となって安全で高品質な化学品輸送サービスをグローバルに提供

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

株主還元

■ 2021/12期の年間配当については、現状30円の予定（中間15円、期末15円）



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

国内ネットワークの更なる充実

■ 今後も国内に営業拠点を新設予定。ネットワークを拡充することによりお客様との接点を増やし、肌理の細かい安全なサービスを提供できる体制を強化



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

複合輸送の取り組み強化

■ タンクローリーによる陸上輸送から、鉄道や内航船も使用した複合輸送を行うことでトラックの輸送比率を下げモーダルシフトを促進。効率的な輸送を展開しつつ、CO_2排出量の削減や定時運航による計画的輸送、ドライバー不足対策や交通渋滞の緩和などにも対応

※タンクコンテナはドライコンテナと同サイズであり、鉄道や内航船、トラックといった様々な輸送手段にそのまま載せ替えることが可能

● 鉄道輸送

CO_2排出量
22(g-CO_2/t･km)



トラック輸送に比べてCO_2を91%削減、計画的輸送に優れる

● 内航船輸送

CO_2排出量
39(g-CO_2/t･km)



トラック輸送に比べてCO_2を83%削減、大量輸送に優れる

● トラック輸送

CO_2排出量
233(g-CO_2/t･km)



タンクコンテナはタンクローリーの2倍の輸送が可能（20t）

様々な組合せにより、コスト削減や時間短縮を提案



(出所)国土交通省 運輸部門における二酸化炭素排出量

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

附帯サービスの強化①

■ 主要なコンビナートに配置された当社の拠点を利用して附帯サービスを提供し、ドラム缶やタンクローリーなど他の輸送モードからタンクコンテナへの転換を促進、地球の環境保全に貢献

国内物流網における附帯サービス

保管



危険物の貯蔵所として認可を受けている当社の拠点において、危険物を含め、貨物を積載したタンクコンテナを安全にそのまま保管・管理。

加温



機械の潤滑油やパーム油(椰子油)など、常温では固まってしまう貨物を温水や蒸気で温め、溶かしたうえで工場に納品。

移し替え



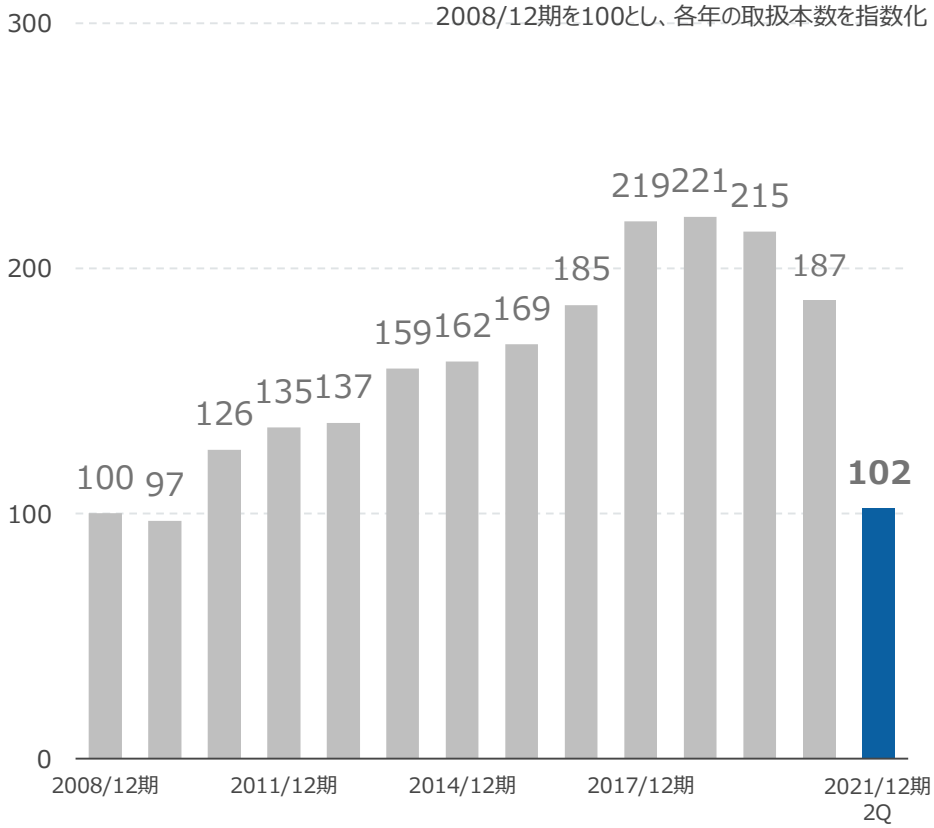
タンクコンテナを受け入れるスペースのないお客様に対しては、タンクローリーやドラム缶等に貨物を移し替えて配送。

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

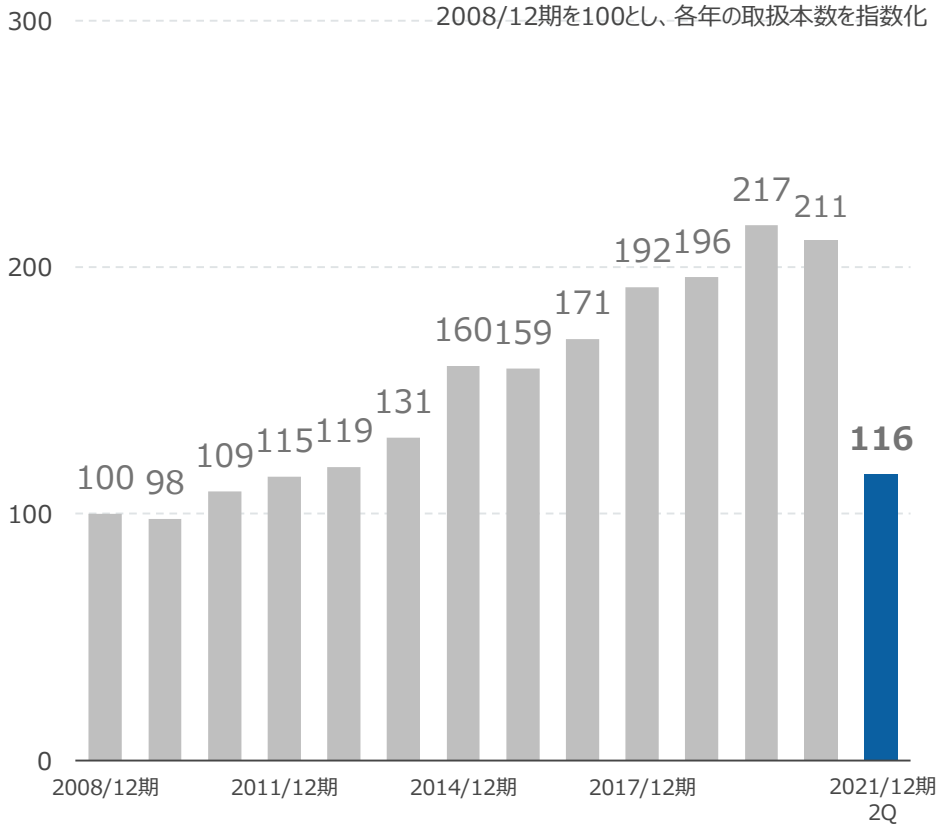
附帯サービスの強化②

- 危険品も含めた様々な液体貨物の移し替えが当社拠点で可能であり、小ロット、複数回納入といった多岐に亘る顧客ニーズに柔軟に対応。これらの附帯サービスが評価され、取扱本数は年々増加傾向
- タンクローリーとの移し替え本数及び加温サービス取扱本数は、いずれも前年を上回るペースで推移

タンクローリーとの移し替え本数の推移



加温サービス取扱本数の推移



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅳ

APPENDIX

環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

各種項目一覧（1）

（単位 ： 百万円）

連結	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期 2Q累計
売上高	11,705	12,165	12,704	12,277	7,554
売上総利益	3,248	3,398	3,513	2,906	1,914
営業利益	1,865	1,939	1,997	1,496	1,173
経常利益	1,772	1,914	1,995	1,450	1,121
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	1,245	1,346	1,405	1,029	796
売上総利益率	27.8%	27.9%	27.7%	23.7%	25.4%
営業利益率	15.9%	15.9%	15.7%	12.2%	15.5%
経常利益率	15.1%	15.7%	15.7%	11.8%	14.8%
保有基数（期末）	7.209基	7,691基	8,114基	8,482基	9,451基
稼働率（期中平均）	74.3%	77.4%	74.6%	71.1%	76.2%
為替（対US$）	112.1円	110.4円	109.3円	107.4円	107.8円
国内輸送等売上	2,021	2,262	2,811	3,148	1,777
ガスタンクコンテナ事業 売上高	22	236	408	497	296

環境、つなぐ未来。
NICHICON NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

各種項目一覧（2）

（単位 ： 百万円）

	2017/12期	2018/12期	2019/12期	2020/12期	2021/12期 2Q
保有基数	7,209基	7,691基	8,114基	8,482基	9,451基
世界シェア	2.0%	2.0%	1.9%	2.0%	2.0%
一株当たり年間配当	30円	30円	30円	30円	–
配当性向	31.6%	30.6%	29.6%	40.4%	–
有利子負債	6,076	6,152	6,184	5,942	6,895
現預金	2,492	3,772	4,273	4,835	6,038
ネット有利子負債残高	3,584	2,379	1,910	1,107	857
自己資本	7,934	9,891	10,856	11,404	12,110
総資産	15,657	17,736	18,971	19,008	21,104
自己資本比率	50.7%	55.8%	57.2%	60.0%	57.4%
ネットD/Eレシオ	0.45倍	0.24倍	0.18倍	0.10倍	0.07倍
税引前当期（四半期）純利益	1,767	1,912	1,996	1,451	1,121
支払利息	64	62	68	68	37
減価償却費	904	1,007	1,142	1,231	659
EBITDA	2,736	2,981	3,207	2,751	1,818

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

洗浄・排水工程の徹底管理

■ タンクコンテナの洗浄排水には、徹底した浄化処理が必須

タンクコンテナの洗浄により発生する排水の水質浄化のため、バクテリアによる有機物の分解も含め、様々な浄化処理を施しております。

また、浄化した洗浄排水の水質調査を自社のラボで行い、pH、BOD*、COD**等が基準を上回らず、排水の一部を金魚の泳ぐ水槽に流して異常が発生しないことを確認した上で、河川に放流しています。









注）*BOD（Biochemical Oxygen Demand）：水の汚染を表す指標の一つで、好気性微生物が一定時間中に水中の有機物（汚物）を酸化・分解する際に消費する溶存酸素の量をppm で示す。測定した排水のppm値が低いほど浄化されている。

**COD（Chemical Oxygen Demand）：水の汚染を表す指標の一つで、水中に有機物などの物質がどれくらい含まれるかを、被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素の量に換算してppmで示す。測定した排水のppm値が低いほど浄化されている。

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

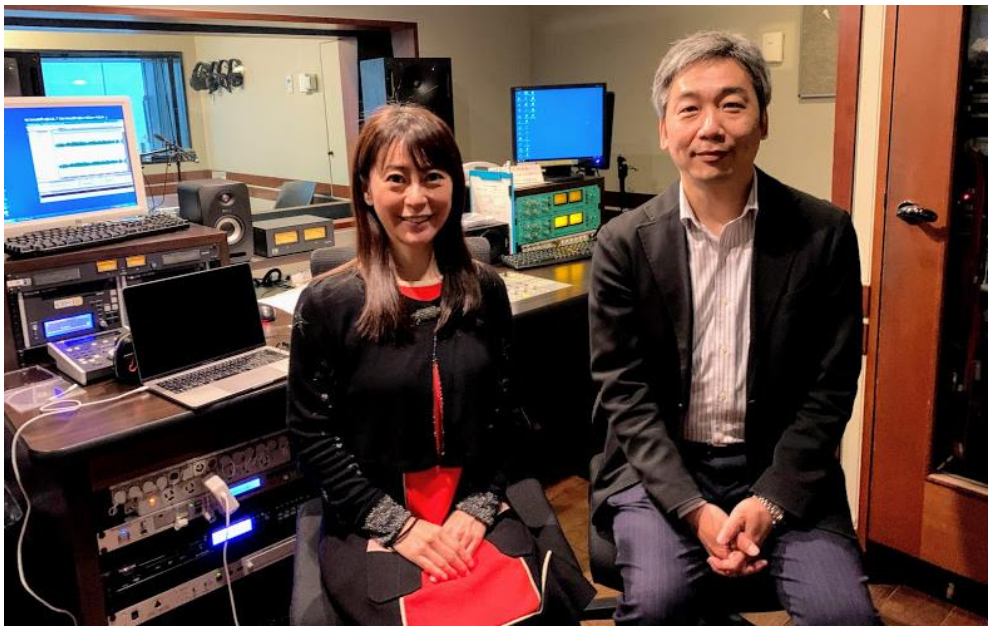
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

SDGsに関するラジオ番組の提供

- 2020年11月より、エフエム東京のラジオ番組のスポンサーとして「SDGsティーチャー」をご提供
- SDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでいる様々なゲストを迎え、番組でご紹介

※当番組はradiko（インターネット・スマートフォンアプリ）での視聴も可能であり、放送終了後にはAuDeeでアーカイブ視聴が可能



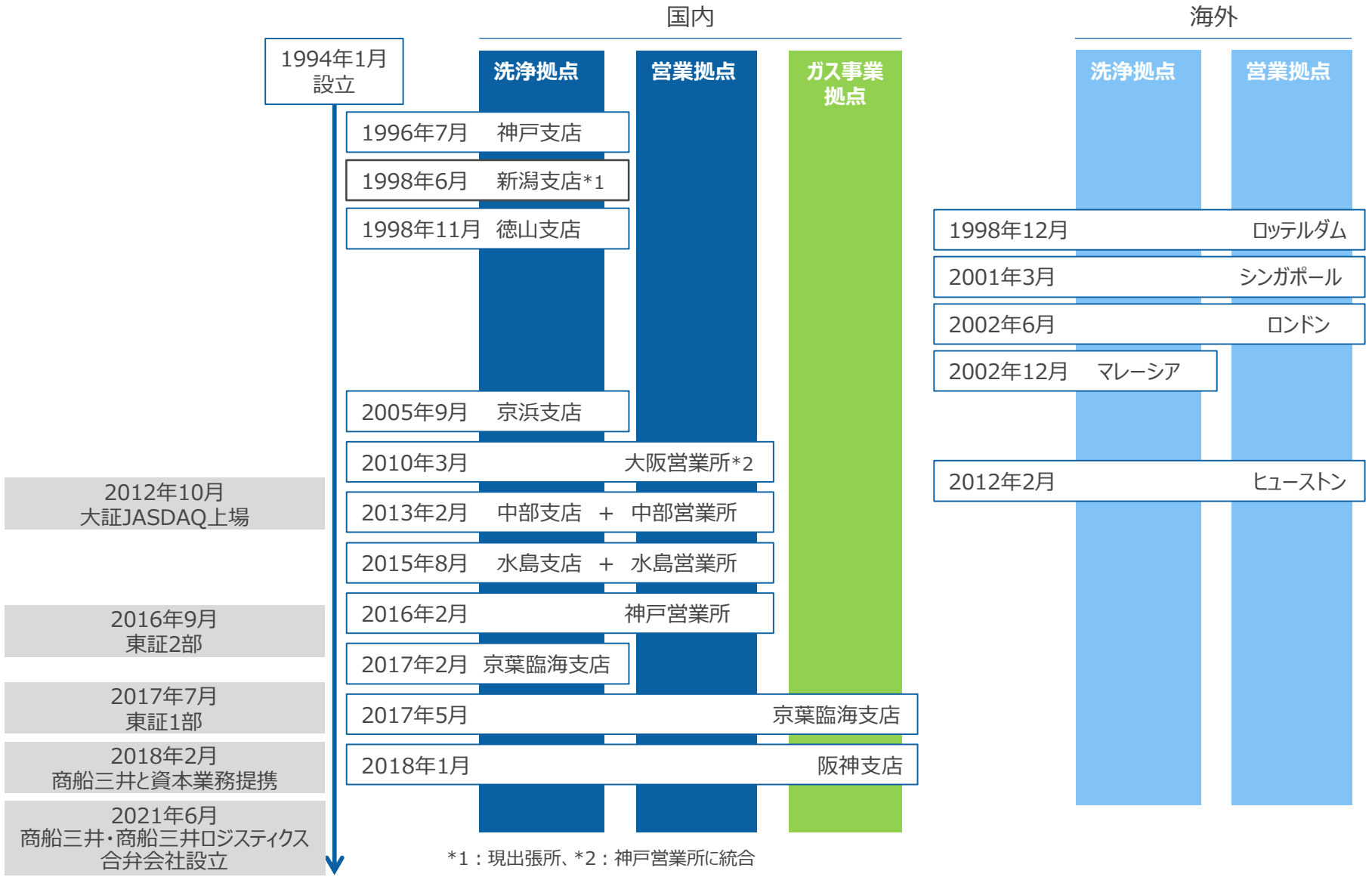


環境や社会に配慮したビジネスに取り組みながら活躍している事例を紹介

環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

沿革



環境、つなぐ未来。
NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

会社概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月6日
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル8階
代表取締役社長	松元　孝義
資本金	1,134,781,750円（2021年6月末時点）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100（株）
決算期	12月
子会社／関連会社	7社
従業員数	203名（連結：2021年6月末時点）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

**当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません**

環境、つなぐ未来。

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

<お問い合わせ先>
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.